

# 福はうち、鬼はそと!

## 市内各地で豆まき

節分の2月3日、市内各所で豆まきが行われました。

市立谷和原第二保育所では、地元絹和会の皆さん14人が保育所を訪れ、子どもたちと一緒に豆まきをしたほか、紙芝居や鬼のお話を披露するなど交流を図りました。

給食には、鬼の顔をしたハンバーグが出され、子どもたちは残さず食べ、鬼退治をしました。

また、小絹地区の八坂神社でも恒例の節分祭が行われ、招かれた立浪部屋の力士や年男・年女にあたる地元小学5年生らが豆をまき、境内を埋めた多くの



▷絹和会の皆さんと豆まきをする子どもたち

参加者らは今年の「福」をつかみ取ろうと、競って手を伸ばしていました。



# 伊奈高生が各分野で活躍

伊奈高校歴史研究部は、徳川家康の孫、千姫の菩提寺として



歴史研究部の皆さんと顧問の小野教諭

知られる弘経寺(常総市)で、100余点の位牌を調査し、初代將軍家康から第14代將軍家茂までの位牌のほか、寺の代々の住職の位牌などの存在を初めて確認しました。

また、部員たちは、弘経寺の天樹祭のガイドを務めたり、弘経寺に残る宗運伝説について共同研究した論文『二つの宗運伝説を追う』水海道弘経寺に伝わる話の変容を調べる』が東京都板橋区教育委員会主催の第9回櫻井徳太郎賞で佳作を



文部科学大臣奨励賞を受賞した西浦さんと書(右端)

受賞するなど、郷土史の研究を熱心に行っています。

また、日本習字学会主催の第92回全国学生書初中央展で3年生の西浦友香さん(伊奈東中出身)が、最高賞である文部科学大臣奨励賞を受賞しました。

伊奈高生は、文化活動でも、さまざまな分野で大いに個性を發揮し、活躍しています。

# つくばみらい市エキストラの会 ロケ支援賞を受賞

県内での映画やテレビドラマなどのロケ支援作品が、2000作品を突破したことを記念して「いばらきロケ大賞」が創設され、つくばみらい市エキストラの会が、ロケ支援部門において、ロケ支援賞を受賞されました。

市エキストラの会の活動は10年を超え、年間の県内エキストラ延べ人員5000人のうち3割を超える延べ1700人が出演するなど活発なエキストラ活動が評価されました。



市長(中央)に報告をするエキストラの会の皆さん(左から大迫さん、間根山さん、稲葉さん、町島さん)

# 黒田さんの絵が、ルーブル美術館に 子ども絵画コンクールで銀賞

住友生命保険相互会社主催の「第34回子ども絵画コンクール」において、黒田知優さん(小絹小・3年)が、応募総数23万6734点の中から、見事

されるということです。黒田さんは、絵を描くことが大好きで、目標としていた賞を受賞でき「とてもうれしい」と話してくれました。



▷機械織り機を描いた黒田さんの作品



銀賞を受賞した黒田さん